

# いつの日にか

(昭和五十一年寮歌)

小嶋茂君 作歌

真鍋利徳君 作曲

## 一

夜は巡り  
限りなき光の束は  
樹林をつらぬきぬ  
朝の静寂の中一人にて  
無為の思いもち嘆き憂える  
もう情熱もなく涙ながる

## 二

何を求め  
ほの暗き大気の底に  
真摯な魂は  
一つの心を持ちさまよいぬ  
もはや言葉なく凍てつきて立つ  
ポプラを見つめ祈りささぐ

## 三

大きな精神  
物思う我らに  
いまだあれどかすかなり  
不毛の日々はかわき過ぎ去りぬ  
なれどいつの日か結びつけなん  
我等が命大きな魂へ

## 四

女性の清き美しさ  
真摯な理性の輝きにさそわれて  
ほのかな恋の想い胸に  
なれど結びえず  
あまりに深き心のあがき  
この暗さに

## 五

深き森のささやき  
清冷な川の流れに聞きいりて  
清らかな中我息しなん  
物を思わなん  
静けさの中とけこみいりて  
いつの日にか